



輝け！北っ子

平成30年6月19日発行

6月号

発行責任者 紺野 宗作

第2回北小の教育を語る会…「メディア対策はどうすればよいか」

最近の子どもの特徴として、うまく人間関係が築くことができなかつたり、生活リズムが乱れ学校生活に支障をきたしたりするなどの問題があります。少なからずともメディアの影響があることは否めません。第2回目の教育を語る会は、学校で実施した SNS 等アンケート調査した結果をもとに話し合いをしました。SNS・ネット・ゲーム等は、しっかりとしたルールがなければ際限なくのめり込んでしまう危険性があります。小さいうちから子どものメディアコントロール力をつけていかなければならないなどの意見が出されました。今回出された意見をもとに、家庭と連携して、どのような対策をすれば、子どものメディアコントロール力を身につけることができるのかを考えていきたいです。



北っ子あいさつ見守り隊…登録者117名

「あいさつがしっかりできる子になってほしい」という願いのもと、地域の松寿会はじめ様々な方にご理解をいただき「北っ子あいさつ見守り隊」の募集をしたところ、現在117名の方にご登録いただいています。ありがとうございます。

この運動は地域の子どもの安全・安心を確保する上でも大きく貢献する活動です。今後も登録者を増やし、子ども達が安心して学校に通える学校づくりをしていきたいと思ひます。



学習支援ボランティア…地域の人材で子どもの教育をより充実

第1回北小の教育を語る会で「学校は、地域の人材をもっと活用すべきだ!」というご意見をいただきました。

このたび、二本松婦人会のご協力により、5年生の家庭科の授業に入っていただくことになりました。現在、子どもの裁縫の授業のお手伝いをいただいております。初めての玉結びや並縫いに取り組む子ども達にとって、二本松婦人会の方々の懇切丁寧な指導は本当にありがたいです。



本校では、読み聞かせボランティアの方が、朝の時間を活用して読み聞かせをしていただいております。毎回子ども達は楽しみにしており、子どもの読書意欲の向上につながっています。今年は、これに加え、火曜日と木曜日の昼休みに昨年まで本校の職員だった加藤宗子先生に読み聞かせをしていただいております。

